

30代・40代・50代からの「私」を活かす場づくり

# 鶴見・まちづくりゼミナール2024 実施報告書



共催：横浜市鶴見区役所+NPO法人れんげ舎

# 1. 事業の概要

## 【目的】

鶴見区で地域活動を始めたい意欲のある人々が、実際に地域活動を始められるようにする。

## 【概要とプログラム】

まず、活動を始めるための考え方・やり方を、専門家による講義・ワークショップを通して伝える。次に、区内・区外で活動の現場や活動者に触れ、一人ひとりの実現させたい活動のイメージを膨らませてもらう。最後に、実現可能なプランを作成してもらい、その実現に向けてサポートしていく。

**日時** 8/31、9/14、9/28\*、10/12、10/26、11/9 (全6回) 10時～12時30分  
 ※9/28(公開講座) は13時～16時30分

**会場** 鶴見区役所(6階会議室)

**対象** 鶴見区内で場づくりなどの地域活動を始めたい方

**定員** 20人(抽選) ※全回受講できる方、初めての方優先

**費用** 無料 ※交通費等実費は各自ご負担いただきます

**主催** 鶴見区役所、NPO法人れんげ舎

**問合せ** 鶴見区役所地域力推進担当 ☎ 045-510-1678

保育あります!

- 6カ月～6歳
- 抽 6人(抽選)
- 無料
- 要申込

**申込みはこちら**  
 8月10日(土) までに  
 専用フォームから

# 2. 各回の内容

今年度は、昨年度になかった取り組みとして、「公開講座」を開催した。また、総仕上げにあたるスキルアップゼミの終了後に、受講生の今後の活動(独り立ち)を応援するために、過去受講生有志による実行委員会を結成し、模擬イベントを開催した。

**鶴見・まちづくりゼミナールとは** 鶴見を学び、いつまでも住み続けたいまち・鶴見をつくるための体験型講座で、今年のテーマは、「私」を活かす場づくりです。経験豊富なコーディネーターやすでに地域で活躍している先輩たちが講師となって、まちづくりのノウハウや仲間づくりのコツを講義やグループワーク、見学会などで一緒に考え、楽しく、しっかりと学びます。

**START!**

場づくりを始めよう!  
あなたの求める場とは?

**第1講**  
8/31(土)  
10:00→12:30

初回は受講生のみならず、講師、スタッフの顔合わせです。どんな内容の講座なのか、どんな順番で取り組むのかをお伝えします。場づくりの基本も学びます。

場づくりの3ステップ  
ゼロから継続的な場をつくるまで

**第2講**  
9/14(土)  
10:00→12:30

たった一人、ゼロからスタートして、継続的な活動の場をつくるまでをステップに分けて学びます。きっとこれならやれそう!と思えるはずです。

**公開講座**  
鶴見ファンミーティング  
つながる鶴見次の100年へ

**第3講**  
9/28(土)  
13:00→16:30

新たな仲間との出会いを通じて一緒に鶴見区の未来を語り合いませんか。

講師名  
ほまじ たかや  
浜田 貴也 氏

これつる〜日誌つるも〜  
鶴見区 副区長

ほまじ たかや  
鶴見を盛り上げたい一歩の思いを胸に地域ポータルサイトを開設

仲間と場をつくるには?  
組織運営の基本と会議の進め方

**第4講**  
10/12(土)  
10:00→12:30

はじめは一人でも、仲間が出来るまで活動が充実します。組織運営の基本と会議を通して、仲間とともに場をつくる方法を学びます。

あなたの「場づくりプラン」を考えよう!

**第5講**  
10/26(土)  
10:00→12:30

いよいよ一人ひとりの「場づくりプラン」を作成します。講座参加前にはイメージが曖昧だった人でも、きっとあんならしいプランをつくれますよ。

場づくりプラン発表会  
5終了式

**第6講**  
11/9(土)  
10:00→12:30

一人ひとりが仕上げた「場づくりプラン」を話し合い、講師からアドバイスなどを受けられます。着実な実践プロセスに入れるよう、大事なことを整理します。

**GOAL!** **スキルアップゼミ**

**12/14(土)**  
10:00→12:30

これまでの鶴見・まちづくりゼミナール修了生が集まります。励みやエールを交換し合い、更なるステップアップをめざしましょう。

**保育自あります**

区役所1階キッズランドで経験豊富な保育ボランティアさんがお子さんをお預かりします。安心してご応募ください。

対象  
6カ月～6歳の未就学児

定員  
6人(抽選)

費用  
無料

申込方法  
子どもの年齢(〇歳〇か月)、人数を入力して申込み

※見守りの交通費等実費は各自ご負担いただきます

## 第1講：場づくりをはじめよう！あなたの求める場とは？

2024年8月31日（土）10:00～12:30@鶴見区役所6F会議

初回はオリエンテーションを中心に行い、受講生、講師、スタッフの顔合わせを丁寧に行った。長期にわたる講座なので、離脱を防ぐために学びの全貌を把握してもらい、初対面の人どうしても打ち解けられるように交流プログラムを開催した。



### 【受講生感想】

- ・大学生から70代までと幅広い世代の方がいてワクワクします。
- ・様々な分野の方の色々な想いを聞け、自分の思いやりたい事の整理ができました。次回も楽しみです。
- ・“場づくり”についてのお話が面白く楽しく学ぶことができました。

## 第2講：場づくりの3ステップ—ゼロから継続的な場をつくるまで

2024年9月14日（土）10:00～12:30@鶴見区役所6F会議室

本講座は「これから地域での場づくりを始める人」を対象としているため、まったくゼロの状態から、組織化された継続的な場を開催するまでの流れを、事例を示しながら伝えた。

また、継続的な場を開催することへの心理的抵抗感にも配慮し、「お試しイベントを開催し、経験を積んでから継続的な場へ移行する」という周到な流れを伝え、「もしあなたがイベントを主催するとしたら？」というテーマでワークに取り組んでもらった。

本ワークを通して、「急に現実味が出てきた」「無理だと思っていたが、これならやれそう」などと声を聞かれた。

### 【受講生感想】

- ・講義前はイベントの開催なんてムリ！と思っていましたが、グループの皆さんとお話ししていたら、出来るのではないか?!と思いました。
- ・あまり難しく考えず「自分の好き」をつくる大切さを学びました。
- ・グループワークで自分の企画を深掘してくれて嬉しかった。アイデアが膨らみました。

## 第3講：【公開講座】鶴見ファンミーティング—講演&ワールドカフェ

2024年9月28日（土）13:00～16:30@鶴見区役所6F会議室



昨年度にはなかった取り組みとして、公開講座を流れのなかに組み込んだ。2027年に鶴見区制100周年を迎えることを念頭に、鶴見のポータルサイト「これつる」編集長の浜田貴也さんをお迎えしての講演会と、集まった人でたくさん対話ができるワールドカフェを開催した。鶴見区のことを深く知り、語り合うことでシビックプラ

イドを意識することになるだけでなく、参加した市民の方にはまちゼミのことを知っていただく機会になり、まちゼミ受講生には鶴見で活動し生活する様々な方々との交流を図り、活動への意欲をかき立てることにつながった。

#### 【受講生感想】

##### (基調講演)

- ・鶴見の知らなかった事、鶴見の良さを再確認しました。
- ・ずっと鶴見で生まれ育ち、当たり前のように触れてきた街のこと、お祭りにはこんなにも地元の人思いがあって歴史があるんだと、まだまだ知らないことばかりで勉強になりました。
- ・鶴見愛が深まって鶴見がもっと好きになりました。

##### (ワールドカフェ)

- ・多くの人と話ができて刺激を受けました
- ・鶴見は多世代交流が課題だと見つけ出すことができました。
- ・鶴見の良いところだけでなく、問題点やどう変えたらよくなるかなど時間を割いて話すことができました。
- ・まちづくりの担い手を発掘したり、思いのある人同士が知り合う機会として対話の会は絶好の場だと思います。



## 第4講：仲間と場をつくるには？—組織運営の基本と会議の進め方

2024年10月12日（土）10:00～12:30@鶴見区役所6F会議室

実際に活動を始めたときにすぐに直面する課題である「組織運営」と組織内での「合意形成」について、しっかりと座学で学んでもらった。

会議のやり方については「はじめて学んだ」という声が多く、仲間と共に活動の場づくりをしていくための準備を整えることができた。

#### 【受講生感想】

- ・会議についてどういう進行をしたら上手くいくか、どうすれば誰もが納得のいく話し合いが可能なのか、ということ学べました。
- ・会議のやり方の講座ということでしたが、自分の日常、生活の中に活用できそうなヒントがたくさん詰まった貴重なお話でした。
- ・振り返りを次に生かすことが大事。反省で終わってはダメ。活動に生かしていきたいです。

## 現場訪問：現場に足を運んで主催者の方から学ぼう

2024年10月13日（日）～10月25日（土）@鶴見周辺各所

鶴見区及びその周辺地域で、既に活動している団体さんを見学させてもらい、主催者の方からお話を聞く期間を設けた。複数箇所に見学を希望する方も多く、それぞれの事例が参考になるのに加え、活動への意欲やイメージを膨らませてもらう機会になった。



## 見学先の紹介

※ 活動現場見学ウィーク(10/13~10/25) 中に見学日を設定しています

### つるみまっぷ

子育て中のママ達で作る《つるみ  
の子どもと遊べる場所》を掲載  
した情報マップ発行。英語版、  
中国語版もあります。



地図以外にも地域  
とママをつなぐ  
活動をしています

いまい きろこ  
今井 幸子さん

こどもと大人の  
自分らしく生きる。  
を応援しています♪

あいぞわ いくみ  
相澤 郁美さん



### EMISORA

らしく Ruプロジェクト主催。川崎  
区を中心に活動。親子イベントを  
開催し地域で活躍できる仲間を増  
やしています。

### 学んでご飯

寺尾第二地区社会福祉協議会が  
運営している、子どもたちが  
一緒に学び、ご飯を食べること  
のできる交流の場です。



地域の子どもたちを  
地域で見守り  
地域で育てます♪

(左から)  
なかにしのぶ  
中西 忍さん  
みながわ しほ  
皆川 慈保さん

「食でつながる  
多文化共生つるみ」  
が合言葉

いのうえ れいこ  
井上 禮子さん



### 多文化共生つるみの会

横浜市内で2番目に外国人の多い  
鶴見で、海外ルーツの方の国や  
地域の文化を学びます。

### みどりなぐらし

南武線武蔵新城駅にある拠点  
「NAYA」では子ども向けの  
様々なイベントを開催してい  
ます。



～身の丈で半歩先へ～  
をモットーに  
精力的に活動中♪

(左から)  
ほんごう ひろこ  
本江 弘子さん  
ほり ゆか  
堀 由夏さん

## 第5講：あなたの「場づくりプラン」を考えよう

2024年10月26日(土) 10:00~12:30@鶴見区役所6F会議室

ひとまとまりの連続講座としては最終回にあたる第6講（プラン発表会）を前にして、プランの作成方法やポイントなどを解説した。特に「プランづくりのためのプラン」ではなく、「自分らしく、確実に第一歩が踏み出せるプラン」をつくれるようにサポートした。

また、これから活動を開始し継続していくにあたって、相談することができる中間支援組織の方に説明をお願いしたり、補助金情報についても伝えた。



#### 【受講生感想】

- ・様々なコミュニティづくりのサポートを受けられることを知りました。
- ・「小さな客体化」について身に覚えがあり、実感が伴い、今後の課題と思います。そして「主体性」を持ったメンバーをいかに集めるか、難しいと感じました。

## 第6講：場づくりプラン発表会&修了式

2024年11月9日（土）10:00～15:00@鶴見区役所6F会議室

一人ひとりが仕上げた「場づくりプラン」を発表し合い、他の受講生や講師からフィードバックをした。当初は12時30分終了の予定だったが、受講生の人数が増えたため、ランチ休憩を挟んで開催した。プラン発表後には、修了式や記念撮影なども行った。

#### 【受講生感想】

- ・自分が想像できないようなプランがいくつもあったり、熱い思いで語られる人がいたりとても楽しみつつ学びも多かったです。
- ・プランを立てて意見をもらうことで、より明確にプランを思い浮かべることができた
- ・プランのアドバイスで、大学生との交流がテーマになると聞き、自分達そのものにも価値があると気づいた

## スキルアップゼミ

2024年12月14日（土）10:00～12:30@鶴見区役所6F会議室

今年度だけでなく、過去の受講生にも声をかけてスキルアップゼミを開催した。

「場をひらく」というところがクリアできても、質が伴わなければ、成果も挙がらず、継続しない。そのため、ベーシックな内容を扱った本編に対し、スキルアップゼミでは「良い流れのつくり方・深まる場のつくり方」というテーマで、実践向けの内容を扱った。また、終了後に、模擬イベントの呼びかけを行った。



## 模擬イベント

2025年2月8日（土）10:00～16:00@鶴見区役所6F会議室

当初の計画にはなかったが、スキルアップゼミの際に「今年度及び過去受講生による模擬イベント」の呼びかけを行い、実際にイベント開催をした。この場合の「模擬イベント」とは、イベント主催者も参加



者も、受講生及び過去受講生に限定した上で、イベント自体は実際に開催するもの。イベント開催の実際を体験できるが、広報や参加者対応のハードルは大きく下がる。実行委員会を結成し、複数の会議日や作業日を重ねて、当日を迎えた。

当日は午前と午後に分かれ、それぞれ主催者と参加者が入れ替わる形で開催された。午後枠については、横浜商科大学の西村悠先生のゼミ生（2024年度に複数の学生が受講生として参加していた）が担当した。

## 3. 本事業の特徴とまとめ

昨年度に続いて、「30代・40代・50代からの私を活かす場づくり」というコピーを打ち出して広報活動を行った。高齢者中心になりがちな取り組みを、若い世代から集めて地域活動の担い手になってもらうため、こうした特徴を打ち出した。

### 【受講生22名の内訳】

横浜商科大学の学生：6名 30代：2名  
40代：4名 50代：3名 60代：2名 70代：5名

また、昨年度に続いて「講座の成果＝意欲のある受講生×良質なコンテンツ」という方程式を意識した。



まず、意欲ある受講生を集めるために、広報活動には力を注いだ。多様な世代の参加者を集めるために、まず特設WEBサイトを設置した。区役所のホームページ内でのアピールではできない、若い世代に訴求するデザインにした。また、詳細な情報を掲載することで、「内容はよく分からないけど参加してみよう」という人々ではなく、「これだけのまとまった学びができるなら、参加してみよう」という意欲の高い人を集める工夫をした。さらに、やはり詳細な内容がわかるだけでなく、デザイン的にもターゲットに訴求できるパンフレットを作成し、区内各所に配架した。配架先も公共施設だけでなく、区内の店舗など、配架先を広げるよう配慮した。さらに、鶴見区役所が包括事業協定を結んでいる横浜商科大学にも広報協力を要請し、結果的に複数の学生が参加した。



次に、良質なコンテンツを提供することとお手本となるような場づくりにも注力した。コンテンツについては、専門性と実績のあるNPOが基本設計をした上で、鶴見区の個性に合うように区

役所と共にアレンジした。また、講座の場づくりにおいても、通り一遍の進め方ではなく、受講生が自分たちの場づくりをする際に参考になるように配慮をした。

最後に、現場訪問だけでなく模擬イベントまで開催することで、場づくりの理論から実践までを集中的に学ぶ場となり、また、公開講座などの広がりの中で様々なつながりをつくることにもなり、総合的な地域の担い手育成の場として展開することができた。

今後は、複数年度にまたがるサポート体制（それも、単なるつながりづくりではなく、それぞれの進捗に応じたコンサルティングなどの知的支援）を構築できると、質・量共に、さらに充実したものになると考えられる。

## 【今年度の受講生が、団体を設立して活動を開始しました！】

周辺地域で子ども会が次々になくなる中、自分たちが住む町会も子ども会の存続が危ぶまれていることから、未就学・小学生の子どもや保護者に対して、パネルシアター・工作・五感を使った遊び、食育につながる料理教室などを行うイベントの開催をすることにより、子育てをする保護者の負担を軽減し、子どもや保護者同士のつながりを作り、誰もが安心して出産・子育てができる地域づくりに貢献したいです。

◎pono代表 杉山 陽子さん

自分が生まれ育った鶴見で「自分には何ができるか？」を探すために鶴見・まちづくりゼミナールに参加し、長田先生の講義と他団体の活動見学などからヒントを得て団体の設立に至りました。

